



報 會 同 工 會

2003

1

嶺は秀づる磐梯山

水は湛ふる猪苗代

これぞ乾坤秀霊の

精氣鐘り成る處

2

明治三十七春なかば

礎堅くぎざかれて

星霜ここに幾かへり

平和の覇者を育みぬ

3

身には白虎の粹を享け

鶴を徽章に雄々しくも

至誠勤労一すじに

進む健児の意気高し

4

峙つ嶺は嶮しくも

寄せくる波は高くとも

これ奮闘の活舞臺

これぞ我等の天地なる

校歌 大正十一年制定

帽章・帽帯の基本型も校友会
発足の、この年に決まる。

何年ぶりの涼しい夏もいつしか終わり、ここ会津の地は秋の気配がさらに深まってまいりました。同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さてご存じのように私たちの母校県立会津工業高等学校は昨年、学校創立100周年を迎えました。記念式典、会工100周年祭などを始めとする華やかで感動的な行事が繰り広げられたのです。また美しく完成した鶴翔会館（同窓会館）はすでに合宿や研修の場として多くの皆さんに利用されています。快適な空間・施設設備が評判を呼んでいるところです。

創立100周年記念事業が無事成功のもとに終えることができたのは実行委員会の委員の皆様を始めとする多くの同窓生の皆様、そして母校の先生方、生徒の皆様の素晴らしい情熱と行動力の賜物です。そしてこの場をお借りして改めて深く御礼申し上げます。

さて母校は新しい世紀への第一歩を力強く踏み出しました。大学進学率も年々上昇しており、また就職内定率も常に100%近くを堅持し、益々優秀な人材を輩出しております。また、部活動などで後輩達は今年も全国レベルの活躍をみせてつくっております。ボクシング部、新体操



同窓会長 吉田 一榮

『活舞台、 2世紀へ』

部、そして特に400Mリレーで東北を制覇した陸上競技部にはどなたも興奮を覚えたことでしょう。来週10月24日から3年ぶりの会工祭が盛大に開催されます。再び見事な学習の成果とパフォーマンスを期待しましょう。

創立100周年は一つの通過点とはいえ、母校が2世紀目を迎え、今後どのような歴史と伝統を築き上げていくのか大変楽しみです。経済情勢、政治情勢、教育・環境問題など世界そして日本は非常に困難で苦しい課題を抱えています。子供達はこのような時代を生き抜くためのたくましさ、智恵が必要です。学校の主役は生徒の皆さんです。すなわち歴史を創るのは後輩達です。会津工業高等学校の未来へさらなる発展を願って私たち同窓生は後輩達へのバックアップをさらに強めようではありませんか。特に建友会・電友会・セラ友会・機友会などの卒業学科同窓会、地域会工会、職域会工会、それぞれの団結をさらに強固として活発な活動を展開していただけることを切に希望いたします。

最後に同窓会会員の皆様のご今後の益々のご活躍、ご繁栄を心より祈念いたしました。ごあいさついたします。

関連記事

2 | 会工同窓会報No.28
'03(平15)総会号

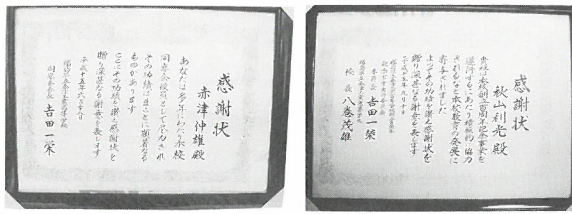
東京会工会の近況

会長 荒井士郎
(昭34K卒)

平成十五年六月二十八日東京会工
会総会に於て執行部の入れ替えが
行われ、会長に私、荒井士郎、幹事
長に五十嵐昭夫氏(35A)が選任
されたが、共に選任を過ぎ世間で
はリストラ組であるが会工では
若返りと言われ複雑な心境です。
同窓会、多分「絆」による集ま
りでありそれ以外の色々な思惑が
入り込むと複雑になり易く職業、
社会的地位等関係なく単に同じ学
校を卒業したという同一レベルで
集まり「ワイワイ」「ガヤガヤ」と
楽しむ事が出来る集まりを東京会
工会は目指している。その中から
過去に溯り先輩の足跡をたどる事
が出来るとはならないだろうか。又、
母校発展にどのような形で、
協力する事が望まし



東京會工会2003.5.24三浦海岸地引網



赤津前会長へ感謝状贈呈

秋山利光氏へ高額寄付感謝状

いのか、何かが生まれるものと思
っている。
五月は、三浦海岸で地引網
六月は、総会と懇親会
九月 栃木でゴルフコンペ
十月 多摩川でイモ煮会
十一月 神奈川でゴルフコンペ
催事が盛り沢山でいづれも「会工
会だより」を通し会員に案内され
ており、楽しみに「東京会工会」
を目標に執行部一同頑張っており
ます。地区を問わず自由参加を受
入れております。
御希望の方は、事務局に御連絡
下さい。
TEL 〇四四(五四四) 〇八一

同窓一万五千

東海会工会

会長 佐瀬一信
(昭26E卒)



6月8日 東海会工会総会

自然豊かなバイカル湖の旅行記

名古屋からバイカル湖方面の催
行はK観光会社の8月とGWの二
回のみである。名古屋空港よりウ
ラジオストク迄2時間、乗り換え
てイルクーツク迄4時間の空の旅
となる。時差についてはウラジオ
ストクは略日本と同程度であるが

(+2)、そこから2、500km余
も西にあるイルクーツクは(0)。
何れも夏時間で不思議に思う。『世
界時差地図』を見て納得する。不
定期チャーター便なので真夜中の1
時頃ホテルに着いたり。帰りは早
朝3時起床の強行軍であった。我々
一行40人の中で最高齢者は82歳、
年少者は11歳、職業も元大学教授
高校教師、会社の会長、社長等で
旅行慣れた方ばかりで海外旅行に
歴最高58回(会社の出張含む、77
歳の会長)30、20回が多い。露
入国の初夜バイカル湖畔のホテル
に泊まる。8月なのに毛布と蒲団
を掛けて寝る。バイカル湖の世界一
は透明度と深い淡水で、面積は琵琶
湖の50倍、水平線の彼方に対岸
がある。湖水をバットボットに詰
めて売っている大小336の河川
が流入し、流出するのはアンガラ
川の一つでその川のほとりにイル
クーツクがある。東シベリヤの工
業、商業、文化の中心地で毛布の
交易で栄えた流刑の地囚人が辛苦の
果てに敷設したシベリヤ鉄道の中
継地でもある。百余年前大黒屋光
太夫一行や榎本武揚が訪れたこと
もある。市内は木造建物や教会が
多く、日本、韓国の中古車が、そ
の儘の形で走行している。商店街
らしきものは無く、全て中央市場
を利用している。物量は豊富にあ
る。観光地で下車しても物乞子供
が少なかったのは、以外であった。
夜9時半にやっと日没10時になっ

てもアンガラ川畔は大勢で賑わっ
ている。未開発の地下資源と人跡
未踏の地多い、バイカル湖畔の中
腹に日本人抑留者の墓地がある。
予定外ではあったが遺族代表者の
要望により参拝することになった。
教会のある小さな部落の外れに高
さ数m、幅80cmの石碑があり上部
には碑文の痕跡があった。下部に
は物故者名が片仮名で刻印された
金属板が置かれていた。右側には
平成10年建立の高1.5mの墓標(木
柱)に日本語で「友よ安らかに眠
れ」と記されていた。日本人が供
えたであろう日本製の飲料水が多
数あった。周囲には露人の墓数拾
基あり、一基毎に金柵で囲まれ墓
碑(石碑、十字架)の上には故人
の写真が飾られていた。我々一行
は周囲の森林を眺めながら、我々
辺りで厳寒時飢餓と伐採等の重労働
に耐え異国の地で「志半ばにし
て」逝った同胞に思いを馳せ「英
霊」に衷心より哀悼の意を表して
きた。イルクーツクより一直線道
を高速で一時間走行する。両側は
牧草地帯で民家や鉄塔、電柱等無
い。フリーヤード・モンゴル村に着
く。凡800年前モンゴルから侵
略してきた末裔であろうこの村の
人口は2万余民族衣装で着飾った
代表者の大歓迎を受ける。挨拶か
ら歌謡、舞踊、最後は客と一緒に
輪になって踊る。昼食は薄暗い掘
っ建小屋に案内され民族料理を出
されたが私の口にはあわない。共

REPORT&MESSAGE

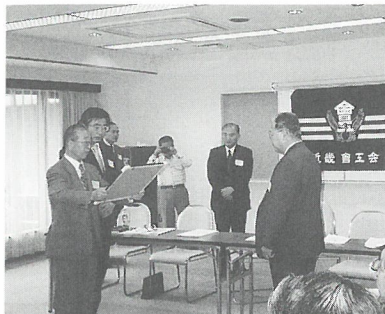
同トイレで水道は無い。ボスは露
語は話せない。14歳の子供が片言
の英語で話かけてきた。帰途も大
自然の中の一本道、道路標識や信
号機等無く時折折対向車や放牧牛の
集団を見るのみ。広大な土地を有
し牧草程度にしか利用できないの
なら、北方四島を返還し島民を開
発に利用すべきである。クレムリン
の責任だ。ウラジオストクは商、軍
港、の街、傾斜地にビルが建ち中国
人観光客や市民で賑わい、デパート
も品数が多くイルクーツクと略同人

口ながら活気溢れる街だ。要塞博物
館の屋外には新旧の兵器が据付けら
れ、中国の観光団がはしゃいでい
た。40歳代の現地ガイド氏は早口の
日本語で1917年露革命で樺太が
日本領になったと言う。日露戦争の
1905年になったと、言っても解
せない様だ。市場は日本のアサヒ缶
ビール1,000ml等、国内ではな
いものが売っていた。他民族国なが
ら黒人とは会わない寒い特異な未開
発国だ。(因に1R144) 以上
平成15年8月20日

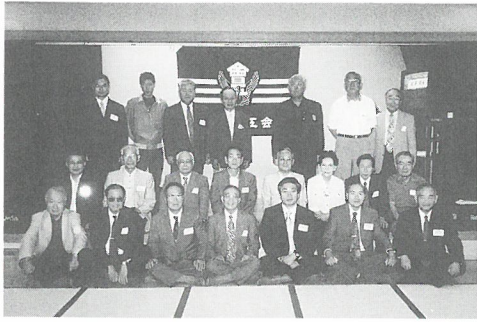
近畿会工会

会長 大島武二
(昭20C卒)

今年度の総会は六月二十九日に、
京都府田辺市にある、ウェルサン
ピア京都にて開催されました。本
部同窓会より吉田会長、風間事務
局、学校側より八巻校長、百周年
実行委員会より、手代木幹事長、
梨子本事務局、会員十五名出席の
もと盛会に行われました。



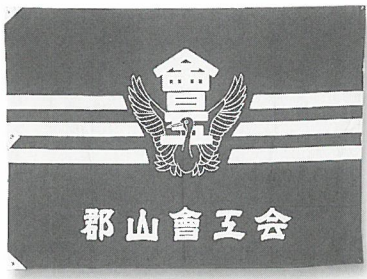
高額寄付者への感謝状贈呈 近畿会工会
大竹氏へ



6月29日 総会

総会終了後は、事務局である
大竹文夫氏(昭和31年C卒)に、
百周年実行委員会より高額寄付に
対する感謝状、記念品を吉田実行
委員長、学校長より贈呈が行われ
ました。

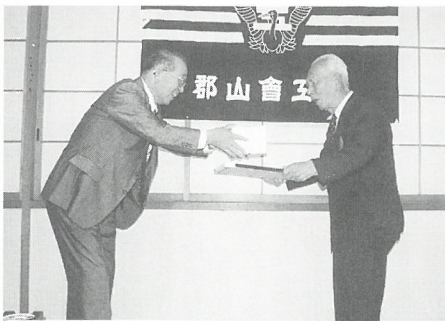
郡山会工会



郡山会工会の回顧 と今後について

会長 荒井 久
(昭18T卒)

私が昭和十九年一月学窓を巣立
って会津若松駅前広場で同級生を
はじめ後輩(柔道部の主将をして
いたのでその後輩達)の元氣瀧瀬
とした応援歌で送っていただき早
や六十年の年月が経過しました。
郡山会工会との出会いは就職した
三菱電機郡山工場に先輩の初代会
長の渡辺文さんがいましたので会
社の仕事も同窓会の事についても
大変御世話になりました。
その当時は市内の主な工場の同
窓生を母体として会が構成されて
おり私は最初から会長のもとで幹



田代前会長へ感謝状贈呈

事として庶務的な仕事をしていま
した。当時は戦時景氣の名残もあり
あり会員もまとまりがあり活動も
活潑でみんな親しく交流をもち東
京会工会ともこの頃から交流を始
めお互いに会を盛り上げた懐しい
時代でした。
其の後軍事産業から平和産業え
と構造改革がおこなわれ各企業も
人員削減等を行って後輩の人達の採
用も少なく自然と会の活動も活潑
さを欠くようになってきた。そこ
でなんとか会員の増強を計りたい
と思い昭和三十五年に再建を計り
幹事長として会の発展に努力して
現在の基礎を造り上げてきたつも
りです。
此の度四代目会長という重責を
ひき受ける事になりましたが今
迄先輩達が築いてきた会の灯を消
すことなく一層の発展を心掛けた



5月17日 総会

鶴雲雄飛



同窓会と私

小柴俊男
(昭34C卒)

会津工業を卒業して今年で45年早いものです。昭和35年3月同級生の「頑張れ」の応援歌に送られて汽車に乗ったのが昨日の様に感じられます。過ぎた日の早さに今更ながら驚かされます。私と同窓会の付合は、私が来福した翌月同窓会発足準備会に出席、これが同窓会との付合の始まりでした。場所は上町万清、渡辺陽一さんの所でした。当時坊主頭だった私は酒を飲まされずジュースだったのを覚えています。時の会長は市内五老内に住んでおられた栗村さん、それが縁で何度かご自宅へ遊びに行く様になりました。

り始めた時だったのでしょうか。(今では斎藤先生、伊藤さん、栗村さん、渡辺さん、他界されてしまいましたが、ご冥福をお祈り致します。)少しシチュンとしていた時、陽気に話を交え楽しい同窓会にして下さったのが、当時幹事で現会長の星さんでした。その2年後に同窓会設立され、昭和46年には前会長星榮佑さん(現顧問)に引き継がれました。星前会長にも大変可愛がって頂き、同窓会の二次会には現会長の星さんの現幹事の神田さんと良く同行させて頂いたものでした。飲めない私がお酒の席で何とか座持が出来た様になったのも先輩方のご指導のおかげです。その時先輩方の経験談が私の激動期に大変役立事になり感謝致しております。良き先輩に出会えたのが同窓会、思わぬ出合が有ったのも、また子供時代に遊びの指導を受けた懐かし

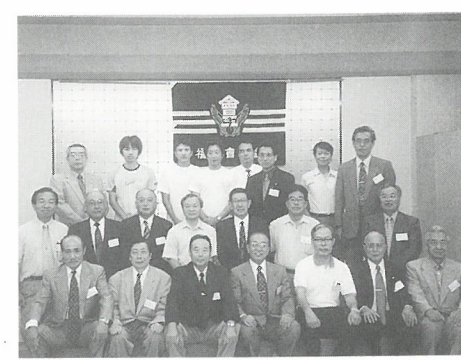


福島県立会津工業高等学校同窓会

若松会工会

会長 梅津正夫
(昭32T卒)

総会は、毎年本部同窓会と同じ日同じ会場にて実施しております。今年度の主な事業としては、会工創立百周年記念事業と本部同窓会への協力・支援を中心に活動しました。特に、支部役員の方には、



しい先輩手代木利夫さんに再会出来たのも同窓会でした。今後は誰に出合えるのか楽しみです。私にとつて、楽しくお酒を飲める会が三つ有りその一つが同窓会です。今年はまだ話しは出ていませんが、首を長くして待っている一人です。

資金集めには大変なご苦勞をいただきました。そのほかの事業としては、年一回のゴルフコンペで会員相互の親睦を深めております。尚、組織を充実するため、行政区割で十三支部に分け、支部長を中心に活動しております。以上役員は次のとおりになっております。

【若松会工会役員名簿】

- 会長 梅津 正夫(昭32T卒)
- 副会長 伊藤 昭三(昭25M卒)
- (平成15年逝去)
- 副会長 斎藤 照雄(昭26E卒)
- 副会長 青山 昭一(昭28A卒)
- 副会長 坂内 茂男(昭32K卒)
- 会計監事 佐竹 重男(昭27C卒)
- 会計監事 斎藤 四志男(昭34K卒)
- 事務局 若狭 春生(昭38K卒)
- 会 計 菊地 壽雄(昭48D卒)
- 行仁支部長 佐竹 重男(昭37C卒)
- 鶴城支部長 本島 秀郎(昭23M卒)
- 謹教支部長 栗城 和夫(昭41M卒)
- 城北支部長 手代木 徳夫(昭28E卒)
- 日新支部長 佐藤 松夫(昭33K卒)
- 城西支部長 坂場 恒雄(昭34K卒)
- 町北支部長 佐久間 芳雄(昭32A卒)



会津工業高等学校同窓会



- 高野支部長 浅田 誠(昭43E卒)
- 神指支部長 関場 一宏(昭33K卒)
- 門田支部長 小山 源昭(昭38A卒)
- 東山支部長 伊藤 博(昭26M卒)
- 大戸支部長 小山 泉寿(昭45A卒)
- 湊支部長 宣森 政美(昭47A卒)



坂下会工会

大堀順一
(昭27C卒)

本年度は、九月三日に第二十五回の総会を開催いたしました。本部同窓会より吉田会長、梅津副会長、学校側より八巻校長、地元より坂下友好同窓会会長(会高・若商)、さらには在校生父兄会会長の



坂下会工会総会



昭和54年 坂下支部設立総会のようす

ご臨席をいただき、会員約二十五名出席の中で盛会に行われました。八月三十一日には五校によるゴルフコンペを行ない親睦を深めました。



猪苗代会工会

一世紀の大事業を終えて

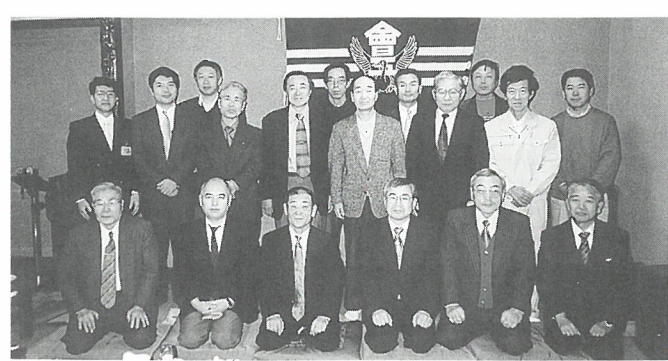
会長 佐藤 保
(昭33C卒)

昭44 5 在京薬品会社退社
昭45 9 J A猪苗代入所
平11 4 J Aあいづ退職



創業百周年記念事業を終え、一年が過ぎようとしておりますが、同窓生諸氏におかれまして、いかがお過ごしでしょうか。この間、異常気象、景気低迷と私たちを取り巻く環境は依然、厳しいものとなっております。これは卒業生の進路についても、選択しを狭くし、思うような職業に就けないというのが現状ではないでしょうか。しかし、同窓生の絶大な支援の下、実業高校として専門技術を習

得し、社会人としての準備を着々と進めている状況は大変心強く感じております。同窓生の中には、全国に企業展開を図っておられる方もいて、会津の地からの情報発信により、広く会津工業高校の名が知れ渡っていると思われまふ。このことは、今の経済状況を打破し、企業戦略を推し進めていく、大きな原動力としての手本として、同窓生の希望となつていくのではないのでしょうか。全国に組織されている会工のネットワークを最大限に活用し、支援活動を更に、展開していくなくてはならないと思います。創立百周年記念事業を成功のうちに終了され、事務局の皆様におかれましては、一息つけた状態でしょうか。同窓会長、学校長をはじめ、事務局の先生方、役員諸氏の苦勞には頭が下がります。低迷するこの時期に、大事業を執行するには、資金調達などが思うように進まず大変ご苦勞されたことと思ひます。私どもも微力ではありましたが、企業訪問や同級会などを開催し、連携を図つて寄附や協賛をおいできたところでありまふ。百年という節目の時に、この一大事業に協力できたことは、猪苗代会工会としてもうれしく思ひます。当会も会員数の拡大と更なる親睦をはかり、本校同窓会と連携し、同窓会の発展に更に協力申上げべく努力して参りたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。



本部同窓会より寺崎前会長へ感謝状贈呈

文武両道

REPORT&MESSAGE

質実剛健

湯川会工会



百周年記念に想ふ

事務局長 佐野常雄
(昭31E卒)

本校創立百周年記念事業も盛大に終了しいよいよ二世紀目のスタートとなりました。

今回は、長びく不調の中にあつて、個人・企業募金ともに大変苦労させられました。前回とは全く異なり、資金部担当の一員として、学校の梨子本先生の応援を頂き、湯川・塩川地区の皆様と会社企業の皆様からのご協力を賜り本当に、有難うございました。

さて、当湯川村は、会津の中心に位置し「米と文化の里」のキャッチフレーズに、ふさわしく、米を始めすべての農作物がとておしい村でございます。人口は、四千人弱で、村民が明るい、健康な村づくりに仲よく努力しております。それは、地元で勝常寺があるからです。九世紀の初め(大同・弘仁時代)空海創建と伝えられておりますが、会津の仏教文化を支えた徳一上人が深くかわつております。現在は、中門、金堂、本坊があり、

至誠勤労

本造業師如来像、その両脇像の3体が国宝指定、中央薬師堂など12像が国宝指定重要文化財となっていることからお解り存じます。又、当湯川会工会の設立は、元業科長の高畑恒夫先生(昭44K平6・10・8、逝去85才湯川村出身)のご指導のもとに昭54・4月初代会長には、坂内季佐久さん(昭4T・昭61・10・9逝去76才)が途中で体調を崩され退任されましたが、先づスタートいたしました。

二代目会長には、本校同窓会副会長の山口瑞穂さん(昭13T)に、お願いし現在に至っております。山口会長さんは、保護司(昭44・平8の27年間)を委嘱うけ、その功績が認められ平成8年4月藍綬褒章を下賜されました。

一方農業の傍ら趣味の俳句では、昭和37年全国俳句大会特選賞の作品が、芭蕉本庁義仲に奉額され



湯川会工会旗のお披露会

お知らせ

- ①本部同窓会(2)、各支部・各修養会(14)計16の同窓会旗は郡山会工会、前会長田代喜伊市氏のご尽力でできたものです。
- ②ポスター・看板のデザインは副

会工同窓会総会

平成15年 10月/18日

●会場/会津若松市南千石町 ホテルいつみや

●会費/5,000円(税別2,000円)

会長山内清司氏によるものです。

社会問題・その他・もろもろの情報交換になつており、年齢に関係なく酒を傾けながら互いに励まし励まされながら、皆さんが喜んで参加されておられます。

今年度の企画として、十月に開催される会工祭を見学させてもらい、その後東山温泉「向滝」にて食事会をする事に成つており、今から楽しみにして折ります。今後益々全国的会工同窓生諸氏のご活躍とご発展を心よりご祈念申し上げて、西会津町会工同窓会の近況報告とします。

多数おりました。

西会津町に「西会津町会工同窓会」が設立されたのは、昭和三十三年度とおぼえております。もう四五年を経過して折ります。

戦後の国・県・の教育方針の改革や、耶麻地方町村の要請なども在り工業・商業・農業・の各高等学校が喜多方市・山都町・西会津町・に創設されて、各市町村からの高校進学希望者が制約分散化される時代となり、また現代問題化されている子供の少子化問題があり、西会津町からの会津若松の各高校進学者が極端に少なくなつてきておるのが現状であります。

またわが工業高校卒業者は県外就職者が多く、地元に残る同窓生がおりません。地元に残り活躍されておる我ら同窓生の健康、高齢化問題も在り、若がいりが出来なっております。

西会津会工同窓会を維持していくことと、賛同者七名で毎月顔合せの出来る無尽会を、行つて折ります。その会合により、同窓会問題・

わが町は、会津地方西部の端に位置し、真白な雪をいただく飯豊山連峰と新潟県を目前にしております。戦前・戦後・まもない頃までは、新潟県・津川町・鹿瀬町・豊美・方面からの会津工業学校通学者が

西会津町会工会

会長 山本幸助
(昭27T卒)

西会津会工会

REPORT&MESSAGE

建友会 会員の絆

会長 手代木利夫
(昭28A卒)

我が建友会が現在迄で会員の絆が強いのは、一口に云えば毎月八日に集まっている無尽にあると思う。昭和四十五年に発足して現在まで続いているのは歴代先輩達の努力の結晶だと云える。この結果は、毎年開催される建友会総会は八日会の会員が中心となり、それに卒業各学年より選出された理事による理事会で案内状を渡し各理事が責任を以てて送付し会員を集め盛大に開催出来る結果に繋がっている。こゝで八日会について話したいと思ひます。現在は第一回生より二十一回まで三十名の有志で構成され、毎月八日栄町ひよう

たん寿司で会員の情報交換親睦を兼ね開催しています。又毎年親睦を兼ね小旅行を実施し今年は二泊三日で恐山・北半島めぐりの旅です。会員が和気あいあいの内会員同志の絆を強くして要る結果だと思ひます。私は同窓会のセラ会、電友会、機友会も絆を一層強くして、大きく発展し会員同志の輪が広がりが会工同窓会を建友会共々支えて行く様に努力をしてまいります。

○新役員の選任
○同級生代表の選任
(役員の紹介)

顧問	真田 賢祐 (26卒)
会長	栢森 幸雄 (27卒)
副会長	手代木徳夫 (28卒)
〃	冠木 忠之 (29卒)
〃	小沼 岑生 (29卒)
〃	小林 憲一 (31卒)
〃	渡部 昭寿 (34卒)
〃	山口 健 (29卒)
監事	根本 一雄 (36卒)
〃	荒明 正義 (30卒)
会計	鈴木安太郎 (31卒)

懇親会のひとこま

古田同窓会長の美声を聞かせていただきながら酔いながら、先の電気通信科の『かぞえ唄』を大合唱して閉会した。

電友会主催 ハイキングと猪 苗代第一発電所 見学

監事 根本一雄
(昭36E卒)

五月二十四日(土)、電友会の企画としてハイキングは初めてなので、参加しました。

前日、雨具の準備をしたのですが、当日は絶好の五月晴に恵まれ、参加者の日頃の行ないの良さを認識させられました。最初は十名ほどの参加予定だったようですが、当日、所用ができたりして、参加者は、栢森会長、手代木副会長、監事の山口さん、会計の荒明さんと私の五人という、少数気鋭の集団となりました。

会津若松駅バスターミナルを九時三十七分に出発しました。バスの停車する猪苗代湖畔の銀の橋停留所下車し、電友会の顧問の真田氏が私達を激励のため待つていました。

安積疎水十六橋水門近くで記念写真を撮ったり、安積疎水の工事を指揮監督された、オランダ人、長工師、ファン・ドールさんの記念碑を見たり、次の目的地、戸ノ

口堰取水へとハイキングしました。一面、湖と緑の美しい景色で、その素晴らしい感動しました。道のまわりのやぶの中には、わらびや、たらの目が見られて、それを取りに、山口さんや、手代木さんはやぶの中に入つてゆかれました。十二時頃、昼食の目的地、猪苗代第一発電所水槽に着きました。お互に持ちよつた昼食のおかげなどを交換したり、なつかしい電気科の高校時代の話などをし、楽しい、ひと時を過ごしました。その後、栢森会長が現役時代、所長をされた猪苗代第一発電所を、同窓生で電気科四十三卒の東京電力社員の方の案内のもとに、説明をいただいたり、見学したりして二時十分頃第一発電所を出発して、早めに着いた磐梯町駅で缶ビールや、ジュースで、ささやかな反省会をして、磐梯町駅二時四十分で帰途しました。徒歩8KMの道のりでしたがいい運動でした。

今後、このような企画を図りながら、会員の親睦と会の発展のため進めてまいります。

電友会 新たな発展

会長 栢森幸雄
(昭27E卒)

八つとせ、山で名高い磐梯山あそこアンテナ張ろうかなそいつア 豪気だネこれは電気通信科の時代に歌われた かぞえ唄の一節です。今の時代に求められる発想ではないでしょうか。

『総会報告』

平成七年設立以来、第九回総会

創立百年

9 会工同窓会報No.28
03(平15)総会号

8 会工同窓会報No.28
03(平15)総会号

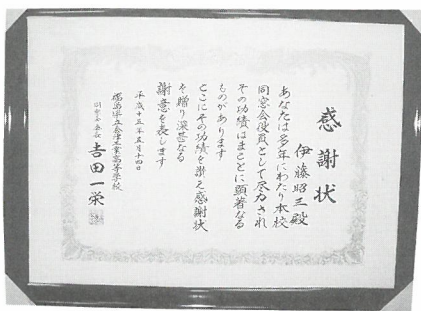
機友会

会長 平田靖雄
(昭25M卒)

総会は七月二十五日(金)に「米熊」の会議室にて、事業・決算報告、次年度の事業・予算案を決めた懇談会においては、本部同窓会より吉田会長、事務局利子本、学校より八巻校長、若松会工より梅津会長と臨席のもと盛会に行われました。



前会長であった伊藤昭三(料亭米熊の社長)(昭25M)氏が5月12日にご逝去されました。機友会発足や本部同窓会の副会長として同窓会・百周年記念事業においてご尽力をいただきました。この文面をおかりして御冥福をお祈りいたします。あらがとうございました。



同窓会より感謝状

セラ友会

会長 坂内茂男
(昭32K卒)

セラ友会が発足してはや四年がたちました。その中で会工創立百周年に向けての活動、毎年一回の総会、並びにセラ友会入会式、その他陶芸講習会、会員の拡大等、先平方と会員の皆様の協力によりつつがなく四年目迎える事ができました。本当に嬉しいかぎりです。

卒業してから四十年近く月日はたつてしまいましたが学生時代の時と同じ情熱と仲間意識に支えられ、百周年に向けて同じ目標に向かっての皆さんとの一体感、これは本当に素晴らしいものでした。これを機にもっと同窓生同志の連帯を深め、会員同志の絆をより一層強固なものとし、より良い母校に向けて皆さんと共に歩んでいきたいと



いとせつに願っております。

最後にセラ友会発足にあたり、最初提案してくださった昭和三十四年卒斎藤四志男(当時セラミック科科長)、吉田同窓会長、並びに諸先生役員の皆様のお力添えでようやく船出する事が出来ましたこと感謝申し上げます。本当にあらがとうございました。

そして又、会報の発刊に際しましては、役員並びに会員の方々のご協力のもと、第一号を出す事ができましたこと、今回セラミックス(窯業科)の歴史としてホームページを立ち上げました。立ち上げるにあたって板垣正宏様(昭和三十五年卒)のご尽力により大変立派な出来上がりとなりましたので、多くの同窓生の皆様方どうぞご利用下さい。又、セラ友会第四回総会が七月十九日に開催いたしました。これでセラ友会の近況報告とします。



福島県立会津工業高等学校 セラ友会 総会

母校だより

二世紀を迎えた会工

教頭 渡辺 秀雄

会津工業高等学校も大きな節目である創立百周年記念行事を同窓生各位の多大なる協力・ご支援のおかげによりまして無事終えることができました。現在はこのすばらしい会工百年の歴史を書籍で残し引き継いでいくため、同窓の方からのご協力により沿革誌の編纂が年度末の刊行に向けて、着々と進められております。また、鶴翔会館(同窓会館)も皆様のご支援ご協力の下に完成し部活動の合宿・同窓会の役員会等に数多く利用されております。皆様も是非すばらしい鶴翔会館を機会がございましたら御覧いただきたいと思っております。百一年目の会工は、いままです以上に各分野において活躍をしております。もの作りのできる会工生を代表して今年度も電動カイト全国大会において、機械研修部が二

教務部

教務主任 湯田 恒弥

昨年度4月から週5日制になり、今年度からは、新しい指導要項での教育がスタートしました。

REPORT&MESSAGE

生徒指導部から

生徒指導主任 風間 眞一

同窓会の皆様には日頃より本校の後輩教育のために物心両面にわたり、ご支援を賜り誠に有り難うございます。生徒指導の係りから心から感謝申し上げます。

さて、長年にわたり同窓会長はじめ会員の皆様には入学式・同窓会入会式・卒業式等で豊富な経験と実践に基づいたお話をいたさでき、生徒達も大変喜んでいてのことと思います。さらに、創立百周年記念行事として多くの同窓生の方々から同窓会館(鶴翔会館)という立派な施設・設備を頂戴いたしました。重ねて感謝申し上げます。

生徒指導の目標は豊かな心を基に、学力向上と自己実現(進路実現)であると思っております。「鶴翔会館」は部活動やホームルーム等での利用により、生徒達の成長と自己実現の一端を担う施設であると確信しております。

最後になりましたが、同窓会の皆様方のご健康と益々のご発展をご祈念申し上げますと共に、今後とも本校生のためにご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

進路指導室から

進路指導主事 平山 賢実

7月1日、求人受付開始。進路指導室には朝から張りつめた空気が漂っていた。今年も産業構造の変化、自動化、省力化、生産拠点の海外へのシフト、即戦力・人材選別志向の強まりなど、高校生にとっては依然厳しい雇用情勢が続くという情報

が流れるなか、求人受付開始の今日、いったい何通の求人票が届くのだろうか。不安がつる。昨年度は初日に郵送で3社、来校で1社からの求人票が届いている。今年は昨年度を上回る好調なスタートがきれるのだろうか。午後5時、進路指導室常駐のスタッフは、お互いに顔を見合わせ、ほっと胸を撫で下ろしていた。初日の今日、来校求人が3社、結うそうで1社の合計4社からの求人を受け取っていた。来校求人数を比較すれば、昨年度より期待できそうなスタートだった。

今年4月、本校に就職促進支援員の塚原憲一氏が配属になった。高校

生諸君の就職先(会津管内)の開拓と進路相談が主な職務である。塚原支援員の、4月から8月までの5か月間の実績を紹介したい。8月29日までの事業所訪問数累計315社、求人開拓事業所数32社、求人開拓数38名、これから先、この数字は更に増加することは必至である。職員一同、彼

の精進や「50分授業の完全実施」を目標に掲げ教育に励んでいます。以上の点を踏まえ、より教育効果の上がるカリキュラムを今後とも研究していきたいと思っています。

9月2日午前、57社64人分の県外企業宛に就職応募書類発送。9月3日午前、31社44名分の県内企業宛に就職応募書類発送。今年度も9月16日から就職試験が始まる。後は生徒諸君の健闘を祈るだけである。

頑張れ、会工健児!

一学年

一学年主事 高橋 徳朗

二年生としての大きな行事は、修学旅行です。高校時代の大きな思い出としても重要な行事の一つです。そのため、目的地や日程・業者選定等については、昨年の四月中旬から着手しました。

そして今年九月中旬、生徒の希望が多かった京都・大阪への三泊四日の日程として行うことになりました。今回の修学旅行の中心となるもの

一学年 会工新世紀の新生

一学年主任 内藤 睦朗

入学式で、新入生代表の宮原健君が「会工新世紀の入学生としてがんばります」と決意表明をしました。宮原君は、二度も会工に奉職された「名物先生」故・宮原庄司さんのお孫さんというの何かのめぐり合わせでしょうか。

さて、一学期を終えてみて、一学年の学習、生活面での成果は大変良好でした。一学期間だけとは言え、一年生の皆勤が会生徒の七割にもなるとは驚きます。欠席・遅刻・卓退の数も例年に比較して圧倒

は、はじめて企画した旅行先での「会社(職場)見学」です。しかしながら関西地区では、遠隔地であり、また会社等の多くの情報を持たない私たちでは見学先を決定することは容易ではありませんでした。

そのため各専門科の先生方を通して関西地区在住の同窓の方々から多くの情報や紹介をいただき、ようやく企画を実行に移せるようになりました。

日本の二大工業地域をなす関西地方で、短時間とはいえ、伝統技術や最先端の職場等を見学できる

連覇を果しております。ロボット・エコノカー等数多くの大会にチャレンジし会工の力を存分に発揮しております。運動の面でも輝く伝統を維持しながら、どの部も上位大会を目指しよりすばらしい技を求め日々努力しております。今年度の全国インターハイにも陸上部・体操部・ボクシング部などが出場し活躍をしております。団体においても水泳部の生徒がすばらしい成績をあげる等各方面での活躍がみられます。吹奏楽部も十月末の定期演奏会に向けて準備を進めながら各種大会においても立派な成績を収めております。このようにすばらしい会工の姿を、十月二十五日・二十六日に開催されます会工祭において御覧いただければ幸いです。是非、諸先輩のご指導ご支援いただきたいと思います。

これからは諸先輩の築かれた歴史と伝統を守り、百年を超えた工業高校にふさわしい新たな伝統を築き上げるため、ものを考え・ものを判断でき・ものの作れる技術教育と、生徒の育成を図っていきたいと思えます。

終わりに、同窓生各位の益々の母校へのあたたかいご指導ご協力をお願いするとともに、会工同窓会の益々のご発展を祈念いたします。

限られた時間の中で、如何に生徒の持つ能力を引き出すか? 「工業技術」が進展する中で、どのような技術者の育成を目指すのか? 将来、生きていく上で必要な知識・技能・人間性を如何に獲得させるのか? 新しく登場する「総合的な

的」に少ないのです。これは学生としての一番の基本だと思うのです。生活面でしっかりとしていれば学習面でも当然成果は良好となります。部活動への参加率も高く、結果として好成绩につながる。陸上個人東北大会出場、水泳個人県大会二種目制覇、新体操全国大会団体メンバー、夏季団体水泳リレーメンバー(堂々の3位入賞 などなど)すでに頭角を表す選手も出て、全体的なレベルアップに貢献しています。ますます今後の成長に期待が持てます。

今年は会工祭。一学年として、是非「みんなが作るユニバーサルデザイン」にふさわしい提案をしたいものと準備を進めているところです。会工新世紀、たのしい新入生で希望の船出となったのではないでしようか。先輩の方々ご安心下さい。

ことは生徒の将来に必ずや大きな影響を与えるものと考えます。唐突な紹介要請にも関わらず、多くの協力を頂いた同窓の方々の御厚意に深く感謝申し上げますとともに、今後とも教育活動へのご協力をお願い申し上げます。

修学旅行クラス別研修コース

(九月二十四日)

クラス	研修場所
インテリア科	嵐山散策・京都国立博物館
セラミック科	TOTO滋賀工場・京セラ本社ショールーム
化学工業科	堀場製作所
機械科	KTC
電気科	松下電器技術館
情報科	オプトシステム
建築科	東大寺・法隆寺・薬師寺・宇治平等院

学窓追憶

大成功を報告、解散

募金

1億5086万円に
(十五年八月三十一日現在)

会津若松市の会津工業高校百周年記念事業実行委員会は三月十八日、最終委員会を開き、昨年の百周年記念事業の成功を報告、解散した。約四十人が出席。八巻茂雄校長が「皆さんのおかげで事業が大成功に終わった」と感謝した。議事では記念式典や記念誌の発行、記念歌の製作・発表など各事業の結果が報告された。

募金の状況も説明され、寄付・協賛合わせて一億四千五百四十八万二千八百二十六円が寄せられ、一億三千百九十一万四千七百七円の支出があった。今後の支出で沿革史の編纂に千二百万円を始め、備品の購入や同窓会館の維持管理などに使用されることも報告された。

■記念事業の主な内容

- 寄附採納事業
 - 工事 平成14年5月28日着工
平成14年10月22日完成
場所 正門西側(元講堂跡地)
全生徒・教職員による壁面モニュメントを設置
 - ①記念誌の発行
発行 平成14年10月26日
名称 「会工賛歌」
部数 3,000部
式典参加者、在校生、教職員等に配布
 - ②記念歌「会工賛歌」の制作
制作 平成14年10月26日
作曲 鉾山 巨氏
披露 式典会場で「会津混声合唱団」により披露
 - ③校歌応援歌のCD制作
制作 当初は校歌・応援歌入りで2,000枚
(H11) 2
後半校歌・応援歌・記念賛歌入り2,500枚
(H14) 10
式典参加者、在校生、教職員等に配布
 - 日時 平成15年9月9日
会津混声合唱団による合唱のレコーディングが行なわれ、この度完成しました。

- 本校のホームページで公開し、ダウンロードすることもできます。皆さんご自由にご利用下さい。
- ④記念テレフォンカードの制作
制作 平成12年4月17日
2,000枚制作
寄付者3万円以上の方々に御礼として贈った。
- ⑤同窓会名簿の刊行
発行 平成14年9月30日
予約者4,500円
で頒布
- ⑥記念式典・祝賀会の開催(式典)
日時 平成14年10月26日
午前10時開会
場所 会津風雅堂
1,500人出席
- ⑦記念講演会
日時 平成14年9月19日
午前1時開会
場所 本校体育館
演題 「マラソン人生」
講師 駒沢大学陸上部助監督 大八木弘明
- ⑧会工美術展の開催
日時 平成14年10月27日
午前10時
場所 本校鶴翔会館
本校所蔵の美術品等の



- ⑨記念品の制作「湯飲み・マグカップ」
式典参加者、在校生、職員、高額の寄附者等に配布した。
- ⑩その他
校内行事として 100周年祭、定期演奏会、記念体育祭、オープニングセレモニー、ビデオの制作
制作 平成14年12月完成
⑪写真集
制作 平成15年3月完成
○これからの発行
①沿革史の編纂
発行 平成15年度末の予定
販売・配布
希望者に販売、各関係期間・募金高額の者に配布する。



会工高100周年記念事業実行委

旅立ち



(昭30E卒) 京野 武夫

突然同窓会より原稿の依頼があり、今年は後輩諸君が就職難で大変だと聞きましたので私の拙い経験が諸君の参考になればと思い筆を取りました。

昭和三十年電気科卒は、それまでの年度と一変して就職難になり、私などは日頃の報いで「社の受難だけ、その後は声も掛けられず卒業でした。それでも、『この俺を採用しない様ではこの会社も発展しないな』と負け惜しみやう元気が持っていました。

叔父の知人の紹介で、財団法人「豊田理化学研究所」の面接、「給料は中卒並みで安いけど、それでもよければ所長に会って下さい」とのこと、所長室で渡された名刺を見てびっくり、東大名教授として、『ここはね年寄りばかりで、君のような若い人の来る所じゃないよ、もう一度学校に帰って先生と相談しなさい、専門教科の先生は視野が狭いから、社会科とか教えている先生に相談しなさい』

『君これを見てご覧、周りの人と話が合わないのです、この年になってこんな物を読んでいるのですよ』日本文学全集を読んで居りました。

当時の流行を覚えておられる方も多いと思います。そんな研究や、発明の裏話等、物事の考え方を教えて頂き後々大変役に立ちました。

ある時、会工の制服で秋葉原にラジオの部品集めにいった時、どうも後ろから誰かが付いて来る様なので、用もない店に入ってしまったが店の前に立っている、田舎者と見て因縁を付けられるのかな、と思っていたら会工の先輩新国さんで、ラジオの部品一式を安く揃えさせて頂きました。その後も何度かお世話になり、本当に有難う御座いました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

その後、無線通信士の勉強を始め、第三級から第一級無線通信士に合格するまで、関東電波管理局の試験官と顔馴染になるまで試験を受けました。これは学校でしっかりと勉強して下さい。独学で勉強すると五倍も六倍も時間が掛かります。一つの事を勉強するのに参考書を買っても、役に立つのは、数十ページなんてこともあり、自分に合う本を探すのも時間と金が掛かります。

学校のカリキュラムは、必要最低限のものですから嫌いな科目があっても、そこに出てくる専門用語を覚えるだけでも後々自分で勉強するときに役に立ちます。参考書を買っていき、中に自分で理解できない専門用語が並んでいると、買っただけで満足しないと思います。

又、就職試験を受けられる諸君、試験場の場所と、そこまでの所要時間を前に日に確認し、当日は門に居る守衛さんや、受付の人に元氣良く挨拶して下さい。試験は門を入った時から始まっています。受験者が大勢居ると皆自分より利口に見えますが、人間そんなに差が有りません。落ち着いて試験に臨んで下さい。

自分の希望する職種でない場所でも才能が発揮されている先輩が大勢居られます。自分自身では自分の才能なんて判らないと思います(そうでない人も当然居るでしょうが)。あまり職種にこだわらず、この就職難を突破してください。会工在校生である事、卒業生である事を誇りとし、健康に注意し頑張りましょう。

まとまりの無い文章でお許しください。

豊田理化学研究所
川崎汽船船舶無線局通信長
日本航空大学校常任講師

創立記念講演会

サラリーマンより「ビジネスマン」をめざせ!

近畿会工会事務局長 大竹 文夫

(昭三十二年C科卒)

去る四月十四日、創立記念講話がありました。講師の方は(株)オプトシステム(京都)の社長でいらつしやる大竹文夫先生。本校工業化学科昭和三十一年卒のOBで、下郷出身です。

大竹社長の会社は液晶ディスプレイの検査機器の製造販売などをする会社。社員は百



二十名ほどで昨年の売上がなんと三十二億七千万円、経常利益が五億円。次案は創業以来一度も赤字になったことはないことだそうです。社員のボーナスは年3回!スローガンは「人にうらやましがられる会社にしよう、生活を豊かに人一倍努力して生きてこられました。ビジネスマンを目指すなら転職をしない。サラリーマンでよいという考えなら転職してもダメだ。という言葉が印象に残りました。

また人間は社会では外見・容姿が重要視され、中身はその次だとのこと。友達とは自分からつくれ、人生一寸先は明るい・など勇氣と希望に満ちたメッセージをいただきました。(会工新聞より抜粋)

先輩寄稿

平和の覇者を育みぬ。

校歌から

学び舎 ロケーション——1 専門過程は、いま。

In インテリア科

■主任 小関 栄助

生徒について

昨年創立百周年を迎え、今年から二世紀目にはいる。インテリア科も創立時の漆工科その後の工芸科を経て現在にいたり、もはや十数年になった。今まで女子の入学が二十人前後、百一年目今年女子が三十四名、男子が六名と完全に逆転した。今までは異なった指導が必要になってきた。次のような指導方針を取るようにした。

1. 男子とも指導の区別はない。

できるだけ単純な道具を使用して形あるものを作らせる。工具を積極的に使わせることに方針転換。

2. 女子の長所・短所を把握し、プラスになるような指導方針を取る。

いるために、合理的にもものづくりができない。立体把握にいたっては致命的なものがいる。

積極的な女子生徒が目立ち放課後、残ったものづくりを精をだす生徒も目立ってきた。短所を長所に変えてやらなければならぬ。

さて、今年は三年担任佐藤良子先生、二年担任石崎 晃先生

を取りません。

昨年の創立百周年の事業を成功させた後の、セラ友会の活躍を乞う御期待下さい！

F セラミック科

■主任 伊藤 健

今年度、最大の行事は三年に一度、開催される会工祭でしょう。生徒会の諸君も科の企画・立案から、この学校行事の成功のために頑張ってください。工具を積極的に使わせると思います。セラミック科の生徒諸君の活躍を期待したいと思います。

セラ友会が発足して、早いもので余念を過ぎようとしています。同じ趣旨を持つ組織は既存はしています。しかし、会津工業高校に現存する他科の親睦会には決して引け

生、一年担任平野起美子先生を中心にとめていて。三年生は進路決定の大切な時期、担任の積極的な指導でほぼ希望先は決定した。あとは合格を待つばかりである。二年生は修学旅行を控えてその準備中、一年生は個性のある生徒が入ってきた。絵の好きな生徒が多い、ものづくりをやりたい希望が強い。今後、期待が持てる。

就職希望者関係ですが、この何年下の構造不況の影響を受け、現実の非常に厳しい状況に立たされておりますが、今年度の求人、昨年に比較して、多少良くなっていると思われ。

しかし、県内外問わず、企業側の今の採用条件として第一に要求されるのは部活動・生徒会活動の活躍ではなく学力試験の結果です。

これから進路に取り組み、二年生諸君、この事を、今だ

進路関係ですが依然、大学、専門学校に進学する生徒が増えています。現在の社会背景の要因として考えられるのですが、しかし、大学進学は理解できるのですが、目的意識が不明確で安易に専門学校を希望する生徒の気持ちが理解できません。



セラミック科職員

する大学も次第に増えつつあります。第一に湘南工科大学です。セラミックを真剣に学習したい生徒に門戸を開いて下さいました。

これもセラミックスという新しい素材が最先端の技術には非常に大事であるという認識が定着している結果だと思

就職希望者関係ですが、この何年下の構造不況の影響を受け、現実の非常に厳しい状況に立たされておりますが、今年度の求人、昨年に比較して、多少良くなっていると思われ。

しかし、県内外問わず、企業側の今の採用条件として第一に要求されるのは部活動・生徒会活動の活躍ではなく学力試験の結果です。

これから進路に取り組み、二年生諸君、この事を、今だ

からこそ、真剣に再確認して欲しいのです。

平成十五年度も三年生は進路決定に真剣に取り組んでいきます。今年の就職率・進学率の結果を期待します。セラミック科の近況報告と致します。

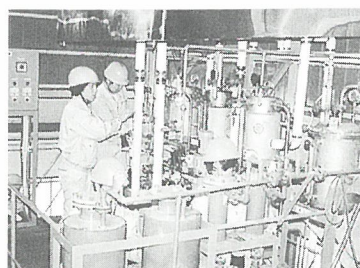
C 化学工学科

古畑 一男

平成15年、化学工学科は鈴木長九郎先生が退職され新しく郡山北工より大河原茂先生を迎えスタートしました。新

1年生担任に大河原先生、2・3年生担任は持ち上がりで加藤芳宏・谷田部俊幸(保健体育)両先生が引き続き担当していただいております。

今年度より新任に松下俊彦先生、さらに古畑一男・長崎敏秀・六澤節子各先生の7名と各学年40名の生徒総勢120名で日々勉学に励んでおります。新1年生に四名の女子生徒が入学し、バレーボール2名、野球、バドミントンと部活動でも活躍しております。今年の最初の行事のマラソン大会では3年生が去年に続



せっけん工場

平成十四年度の進路状況をご報告いたします。

県内・地元就職11名：日曹金属化学(株)2、会津パツテリ商會、弥満和プロダクション、坂下マイクロエレクトロ、丸峰観光ホテル、竹田綜合病院2、秋元工業(株)、会津中央乳業(株)、呉羽化学工業(株)

県外就職四名：(株)コムスン、(株)品川ナックス、日東樹脂工業(株)、(医)正務病院 大学進学五名：いわき明星大学2、日本大学、東洋大学、拓殖大学 高専2名：会津、郡山 専門学校13名。年々就職状況が厳しさを増

M 機械科

■主任 佐竹 勝行

この春の人事異動により、渡部哲先生が喜多方工業高校へ、佐藤貴裕先生が白河実業高校へそれぞれ転動なされ、そして機械科・電気科の両科で活躍なされておりました鳴瀬良先生が古巣の電気科へ移動になりました。後任として喜多方工業から岩沢厳先生、大生養護学校から今野賢先生そして以前本校機械科の科長でありました古田孝男先生が機械科の職員に新しく加わりました。又、一年一組の担任として数学科・渋谷由紀子先生、二組に社会科の大塚久泰先生、一年二組は数学科の佐野正司先生、三年一組担任国語科・鈴木重希先生の四名の先生方の応援を含めて総数十七名で頑張っております。

機械実習室には昨年引き続き、旋盤が一台更新され、新しい旋盤が合計八台並びま

した。残り二台を更新すると生徒全員が新しい旋盤で実習を行うことが出来ます。また、古くなったNC、MCデータ処理のためのPC全てを新しく致しました。

ところで、この不況の中、進路指導は大変ですが、平成十四年度の機械科の場合はそれなりの良い結果を得ることが出来ました。これもひとえに諸先輩方々のご尽力の賜と深く感謝いたしております。平成十四年度機械科卒業生七十八名の進路の結果は以下の通りです。

- 就職者三十二名(県内二十一名、県外十一名、内未定二名)、進学者四十六名(四十五名、短大一名、専門学校二名、内未定二名)となっております。
- 昨年の進学者数三十三名に比べて大幅に増えております。このことは世の中の進学率向上の傾向と共に、不況のため就職先が少ないために「とりあえず進学でもしておこう」ということの両面が考えられます。
- さて、機械科の生徒のみで編成している機械研修部の活躍について報告いたします。
- (平成十四年度分)
- 全国ロボット大会予選福島県大会 ……二台出場
- 全国電動カート高校選手権大会 ……三台出場
- 二部門で優勝
- ホンダエコノパワー燃費競技全国大会 ……三台出場
- 全国相撲ロボット競技大会東北大会出場
- (平成十五年度分)
- 全国ロボット大会予選福島県大会 ……二台出場予定
- 全国電動カート高校選手権大会 ……三台出場
- ……三台出場

E 電気科

■主任 梅宮 昭雄

総合優勝、並びにレース賞、プレゼンス賞受賞

○ホンダエコノパワー燃費競技全国大会…三台出場予定

平成十五年度も半ばを過ぎ、会報発行の頃は会工祭の準備に追われる毎日と思います。さて今年四月に電気科には渡部雅昭先生が喜多方工業高校より八年ぶりにカムバックして来ました。そして、鳴瀬良先生が本校の機械科より戻って来ました。また、本校OBでもあり、永く教鞭を執り、特に電気科の生徒の指導を情熱的になされた根本一雄先生が退職し、小荒井幾雄先生が喜多方工業高校へ転動されて、今年のスタッフは一年担任・中野善司、二年担任・高橋徳朗(社会)、三年担任・小黒常雄、科主任・梅宮昭雄、そして、鳴瀬良、渡部雅昭、吉川久雄、前田宣裕が専門教科指導、鈴木聖也(一年副担・体育)の9人が電気科

職員として、学習指導、生活指導に当たっています。

「会工祭」の開催、誠にありがとうございます。

これから2学期の間に開催されます。

1年生の7月の時期としては初めての導入であった「パソコン利用技術試験」3級に、情報技術科1年生が全員合格しています。

3・情報技術科が力を入れているもの

それは、「コンピュータによる制御の技術」と、「各種言語によるプログラミング」です。

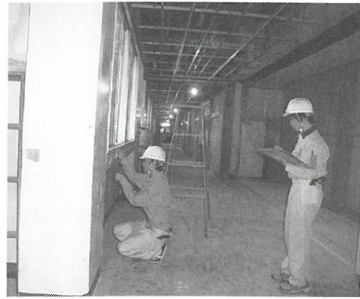
今年度は、10月に会工祭がありまして、それらの学習成果を発表することになっています。多くの皆様にぜひご覧を頂き、そしてご意見をいただければ幸いです。



建築科

主任 渡部 鉄仁

平成15年度の建築科は、人事でも異動者が無く昨年と同様のスタッフです。1年建築科内藤睦朗先生(建築科)、2年建築科鈴木美枝子先生(英語科)、3年建築科菅家慶広先生(英語科)が中心です。



奮るえんや会工の健男児

学び舎 ロケーション 2 クラブ活動は、いま。

生徒会

生徒会長 秋山 貴之 (三年 F科)



津工業は創立百周年を迎えました。百周年祭では生徒全体で盛り上がり、尚且つ会津工業の歴史を振り返る事も出来ました。今年の生徒会の主な行事は、四月に生徒会総会、七月に球技大会がありました。生徒会主催に行われた球技大会、各

部活動の協力のもと成功させることが出来ました。

それから十月末に三年に一度の文化祭があります。夏休み前から実行委員を立ち上げて文化祭に向けて話し合いを行い大成功と呼べるような文化祭にするために実行委員と共に生徒会役員も頑張っています。

これからも生徒会役員が協力し合って行事に取り組んでいきます。

応援団委員会

顧問 山野 敏 馬場 勇作 馬場 正紀



応援団長(物江雄介(3M2))を中心に、活動しています。百周年記念式典のオープニングでOBに雄姿を披露していただき、応援団の使命を再認識しました。

新聞委員会

顧問 菅家 慶広 佐藤 良子

新聞委員会では、今年度から「会津高力新聞」を基本的に毎月発行しています。カラー印刷によりカラフルな紙面づくりをめざしています。作成には、各クラスの新聞委員会の中から担当者を決め、四〇五人のチームで取材をし、記事づくりを行います。主な記事内容は、一年間の学

空手部

顧問 村田 光夫 高橋 弘光 主将 寺木 新也

僕たち会津工業空手部は、日ごろの鍛錬のもと技と精神を磨いています。そのおかげで今年の県大会では3位入賞、全会津大会では優勝という実績を残しました。空手部は他の武道部のように専用の道場は持っていませんが北体育館の一角を使い、年々積み上げていった歴史と先輩方の誇りを受けついで日々昇進しています。最近では、少年犯罪や殺人事件等が多くなっています。

が、武道を通じて、身体能力の向上、精神の発達等で少しでも減ってくるなりたいと思っています。他人をいたわる心を知る機会になると思います。今、空手部には1・2年合わせて十数名いますが、あいまいなのは幽霊部員もいるからです。しかし、それぞれ個性は違いますが、空手部という誇りを持って頑張っています。空手部は新人戦が他の部活に比べて遅いですが、会津工業の名に恥じぬように大会でもベストを尽くして頑張りたいと思います。

名を残してほしいと期待する。3年生在部中の試合結果は次の通りである。

○第49回県高等学校体育大会 団体戦ベスト8 地区大会優勝3連覇

○第53回全会津総合体育大会 ◇男子

先鋒 大原 正義 ベスト8
次鋒 小林健太郎 ベスト8
坂内 陽次 ベスト8
中堅 物江 雄介 第2位
小林 昌弘 第3位
坂内 紀智 第3位
副将 佐藤 士郎 第1位

大將 佐藤 元樹 第2位
佐々木拓也 第3位

◇女子

大將 山口 美月 第3位
計10名 県総体行

○第56回福島県総合体育大会 個人戦

大將 佐藤 元樹 ベスト8

県総体を最後に引退した三年生だが、後輩の指導の為に日々稽古する姿が見られる。現役の部員は良き伝統と素晴らしい技を引き継ぎ、強い柔道と精神力を更に延ばしてもらいたいと思う。

られた。新体操委員会は廃止・撤回の嘆願書を提出。全国からも多くの意見書が寄せられた。廃止の根拠は「オリンピック及びアジア大会になり種目を廃止する」という事らしい。今年度男子新体操は、初の世界選手権大会の開催でも、国体出場を目指している生徒達にとっては、とてもショッキングな出来事であった。少年男子新体操は、競技人口の低下が問題とされている中で、現役高校生選手にとつては数少ない大会の一つであり、大きな目標の一つでもあっただけに、国体の伝統的な種目としての少年男子新体操の「国体種目廃止」は今後多くの選手達に影響をあたえる事になるだろう。

今年度は「ドングリの背比べ」という状態です。今後の新人戦、そして来年のインターハイへ向けてここから抜け出し、県大会でより上位を進めるように、十人となるものを身につけさせようと考えています。

多く経験し、目標に向かって努力する力はつけたと思います。

また主将を務めた三年建築・羽染圭佑選手は、本校の代表として福島県高校選抜チームに選出され、先日開催された東北総合体育大会で、国体の切符は逃したものの、県代表チームのエースとして活躍し、他県のスタッフや選手に本校を十分にアピールしていました。

同窓会の方々には、陰に日向に応援して頂き本当に感謝しております。今後も、全国大会出場目指して練習は勿論のこと、皆様の近くへ、遠征や合宿、試合に訪れると思います。その際は、後輩達に温かい声援をお願いいたします。

柔道部

顧問 白岩 格 湯田 恒弥 高橋 俊治

我が柔道部は、顧問の白岩格先生と湯田恒弥先生から毎日厳しい稽古を頂いている。窮地に立たされた時、限界以上の力を発揮できるのが精神力である。それと共に合理的な技。どちらか一方が欠けていては「くずれ」だが、実戦経験から裏付けされた「くずれ」のない指導は講道館柔道あるいは「白岩柔道」だからというべきだろうか。稽古する生徒には隙がない。普段から人優しく大人しい生徒さえ道着を着たら「さあ行くぞ」といわんばかりの雰囲気である。稽古をつける側も受ける側も真剣に取り組んでいる姿がそれを物語っている。更に会工柔道部史上初の女子選手が2名入部した。男子と共に会工の歴史に

スキー部

数から質へ 顧問 稻生 義則 益子 茂 山野 敏 佐久間智宏 長谷川知宣

年々各校のスキー部員が減少していく中、会津工業高スキー部は安定した部員数を確保していると思えます。

高校大会の中に学校対抗が残る競う時代ではなく、残ったとも思われる。

学校対抗は団体種目の副産物で競技力向上に一役をなすてきたが、種目によっては大会参加者数も少なく、学校によっては生徒数も減少している中、大会の数も減り、なればならなくなってきた。反面選手の強化指導も合わせて考えなければならぬ時代であるとも思われる。

体操部

顧問 鈴木聖也 尾形雄一

今年度に入り、突然の衝撃が走った。「少年男子新体操国体種目廃止」である。

「国体の大会規模15%削減」が承認され、その種目の一つに「少年男子新体操」があげ

バスケットボール部

顧問 加藤 芳弘 菊田 源

今年度のバスケットボール部も、伝統の「のびのびとみんな」で走るバスケットを軸として毎日の練習に取り組みしています。その結果、インターハイの地区予選では第2位に甘んじたものの、県大会ではベスト8まで勝ち進むことができました。

そして新チームは、現3年生の不安や「伝統」というプレッシャーと戦いながらも着々と力をつけ、選抜大会地区予選優勝という華しいスタートを切る事ができました。しかし、これは本当に第一歩にすぎません。新チームについては、

バレーボール部

顧問 山寺 清司 古畑 一男 谷田部俊幸

バレーボール部の昨年から活動を報告いたします。百周年を迎えて昨年は、バレー部にとっては大きなニュースが二つありました。一つは、百年の歴史に花を添えるように女子部が発表しました。熱意ある部員が集まり公式戦出場も果たしました。本年も一年生が入部し、県大会出場を目指し練習に励んでいます。

もう一つは、フジテレビ系列の企画「春高バレー」の福島代表のチームに選出され、約八ヶ月にわたる取材と三十分特別番組の放映がされました。元全日本の水谷智(せんすい)さん(2年)がコーチとして来校し、熱心に指導され、また選手とのコミュニケーションのとおり方も上手で、良き兄貴分として親しまれた八ヶ月でした。

現在のチームは、県新人戦、県総合体育大会ベスト8、県高校総体ベスト16と目標としていたベスト4進出はなりません。しかし、遠征や合宿を数

ボクシング部

顧問 篠原 宏和 富樫 実 3A 太田 道元

私達は、今年の七月灼熱の太陽が降り注ぐと、長崎県小浜町で全国高等学校体育大会ボクシング競技に参加しました。会津工業からは県大会で優勝したバンタム級の田口雅一(3F)とウェルター級の太田道元(3A)の二人が出場しました。

全国大会は各都道府県の代表なので、とても強い選手ばかりが出場しているためレベルの高い試合が展開されました。バンタム級の田口君は、一・二回戦は順調に勝ち上がり三回戦で関東チャンピオンの神奈川県代表武相高校の選

手と戦いましたが、結果は判定負けでベスト8でした。私は何とか準決勝まで勝ち進み決勝をかけて埼玉県代表の花咲徳栄高校の選手と戦いました。試合は、各ラウンドともにアウトボクシングを心掛け相手との距離を保ちながらリ―チを生かした攻撃でポイントを重ねる戦い方でしたが、思うように試合運びができずポイント差で判定負けをしてしまいました。以前練習試合で戦って勝っていた相手だけにとても悔しい思いでした。

この大会では第三位入賞でしたが私としては納得できない結果でした。この悔しい思いを次の国体で晴らしたいという思いで毎日厳しい練習に



野球部

野球部四五年ぶり！
春季県大会ベスト4

顧問◎大塚 久泰
高畑 利夫
前田 茂寛
渋谷由紀子

昨年度のエース投手をはじめ、主力選手が残り、例年になく充実した布陣で今シーズンむかえることができた。

冬場のトレーニングもウエイトトレーニングを中心にボールをなるべく握りながら、雪上での練習に励み、選手達も一回り体が大きくなったようであった。

春さきには、水戸商業、作新学院など関東の強豪校と練習

試合を行い、レベルの高い野球をめざし、本番にそなえた。四月下旬の春季地区予選において、地区優勝を飾り、県大会にこまを進めた。

エース小林は、一三五キロを超す直球を投げ、他のチームからマークをされながらも、一回戦内郷高校に九回裏、二死走者なしからも逆転サヨナラ勝ちをおさめ、準々決勝では前年秋の大会の東北大会出場校である強豪光南高校を七対〇で一蹴し、本校四五年ぶりのベスト四へ勝ち残った。

準決勝相手校は昨年秋、県大会で敗れている日大東北高校である。初回一点を先制し、投手もよく踏ん張ったのであるが、ついに逆転を許し、四対一で敗れたのであった。

七月に行われた夏の選手権大会では、春季大会の成績が



陸上競技部

顧問◎石崎 晃
小松山 淳
大和田好倫

新世紀の会工陸上競技部は、安川勉（三機一）を主将とし男子47名、女子6名が選手登録した。男子は会津地区で一番多い登録となった。主な活躍ぶりは東北インターハイには6種目出場し、1001年目にして初の400米Rで優勝、全国大会出場を果たした。全国では、大雨の中チームベス

山岳部

顧問◎中野善司
五十嵐進
今野 貢
部長 加藤昭宏

今年度の山岳部は3年生5人、1年生1人というスタート。4月の新人歓迎ということで猫魔・雄国山（1泊2日）を迎えた。この段階では部の存続が危惧されるほどであったが、今年初の公式大会である5月の地区大会の会津駒ヶ岳（2泊3日）では1年生1人が新メンバーとして追加して、さらに6月県大会（3泊4日）三ツ岩岳・窓明山では2年生2人。新部員のために事前に背負山で自主トレを行ない、結果として総部員9名まで勢いを盛り返した。さら

に9月の地区新人大会（2泊3日）尾瀬・燧ヶ岳という段階で、ここ来てさらに1年生数人が追加入部予定で、心強い限りである。

さて、今年の県大会では優秀パーティーを目指して準備をしてきたが残念ながら細かな点で惜しくも入賞を逃してしまっただけ。しかしながら、山路が険しく、急登が続く三ツ岩岳・窓明山の長いコースを、他校のパーティーがバテ者が続出するなか、本校の部員は全員、全日程を元気に完歩して、本校の山行に対する基礎体力の高さを見事に発揮、特に1、2年生はよく頑張っていた。その後は7月の夏期登山技術講習会では川桁山登山に本校の総部員9名で小雨降るなか、全員登頂し、特に3年生5名にとっては、地区の部員の最後の顔合わせであり、それぞれに思い深いものであったようだ。

ところで、今年の夏山合宿は県外、それも日本を代表する北アルプス槍ヶ岳連峰縦走であった。険しいコースに備え、事前に鶴翔会館で宿泊合宿を行った後の8月4日から4泊5日の日程で、長野県上高地から入り、徳沢・槍ヶ岳・殺生ヒュッテ・水俣乗越・ヒュッテ西岳・大天井岳・燕岳・合戦小屋・中房温泉というコースであった。初日と最終日は移動日となったが、中三日間は毎日かなりの長丁場を1、2年生達もメインザックの重さに耐えながらしっかりと歩いてくれた。雄大な山脈を自分の足で歩き通したこの山行は各自に自信と大いなる達成感を



水泳部

顧問◎岩沢 敏一
長崎 敏秀

平成15年度、水泳部は29名内女子8名、男子21名で活動を開始した。部員数が多くスタート時期から活気があり、それぞれの選手、また会津工業高校水泳部の目標をたて協力し取り組んでいる。部員数が以前の倍くらいいる人数で、練習や大会などでまとめるのが大変かと思ったが、部長の三年情報科山田善之君を中心によくまとまり動いていた。

大会の成績は、地区大会7年ぶりに会津高校から団体優勝を奪取することができた。県大会では団体男子四百mフリーリレー三位同メドレリレー13位800mフリーリレー2位、個人でも1年建築科の山田篤未君が2000m400

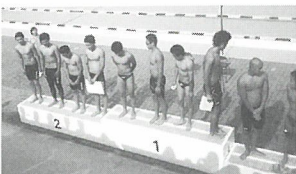
バドミントン部

顧問◎佐竹 勝行
本田 亜希

m自由形で1位になるなどの活躍を見せた。それ以外の選手も表彰台に上る成績を残し、総合二位という結果を残ることが出来た。東北大会では健闘したが残念ながらインターハイの出場権は得られなかった。

今年度の大きな大会は、この後の新人大会でそれが終わると山田篤未君は国体に出場し、残る部員は来年度に向けての練習、調整になる。

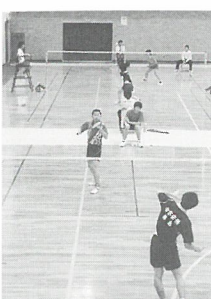
今年度の大会等で経験したものを生かせる様な取り組みをして行きたいと考えている。



卓球部

顧問◎渡部 鉄仁
馬場 正紀

平成15年度は、1年生7名、2年生5名、3年生5名の計17名で活動しています。高校体育大会では、シングルス1名とダブルス1組、総合体育大会では団体とシングルス3名が福島県大会に出場しました。3年生が引退して、数少ない部員がさらに減り、12名となりますが、練習においては放課後、休日に関わらず皆元気に熱心に取り組んでおり、全日本選手権、その後の新人戦の大会においての活躍が期待されます。



剣道部

顧問◎馬場 勇作
丹治 一記
主将 佐藤 桂

では青柳、松野、大島がそれぞれベスト16入りを果たした。3年生が引退した今、新チームは2年生9名（うちマネージャー一名）、1年生13名で構成されている。そして特筆すべきは、そのなかに女子選手が五名含まれているということである。なかでも1年生の喜多見はインターハイ県大会に出場し、シングルスベスト16という快挙を成し遂げた。今年度から本格的に活動を始めた女子チームは、現在学校対抗戦に出場できる最低限の人数ではあるが、新人戦での県大会出場を目指し、男子チーム同様、猛練習中である。

数から質へ
僕達剣道部は、2年生2人、1年生3人、3年生の先輩、馬場勇作先生、丹治一記先生OBの先輩方を中心に工夫しながら練習していました。しかし、3年生の先輩が引退すると部員が団体戦ギリギリの5人となってしまいました。でも、3年の先輩が引退してからも練習しに来てくれたり、OBの先輩が来てくれました。今年の夏休みには合宿をやりました。馬場先生がいなかった合宿なので不安がありました。が昼の練習は3年の先輩が指導してくれ、夜はOBの先輩方が集まり指導してくれまし

テニス部

顧問◎海老沢康弘
穴澤 節子
菅家 寿和

た。先輩や丹治先生のおかげで無事やる事ができました。今年の大会の成績は、3年の先輩がいたインターハイ地区大会は団体四位で県大会に出場しました。会津総体では3年の先輩が個人で県大会に出場という成績でした。

僕達剣道部は、人数は少ないですが部長を中心とし、来年のインターハイでは今年の先輩に負けぬように一丸となって頑張りたいと思います。

会津工業高校テニス部は現在2年8名、1年10名、合計18名で活動している。学校にコートがないため、鶴ヶ城のテニスコートや総合運動公園、会津ドームなどを有料で利用しているが、最近では県大会のコートサーフェスに合わせ、緑地公園などでも練習するようになった。鶴ヶ城のテニスコート以外は学校からかなり離れた所であり不便な状況ではあるが、部員は毎日じめに活動しており会津地区を代表する学校になっている。今年の成績はインターハイ県大会学校対抗戦ベスト8、シングルスベスト16、県総体シングルスベスト8、ダブルスベスト16が2ペアと団体、個人とも県の上位に入っている。今後はこれまで以上の成績を残せるように頑張らせたい。

弓道部

顧問◎黒澤 静子
戸井田睦美
白井 まや

弓道部は3年生6人・2年生10人（女子2人）・1年生11人（女子1人）で活動しています。久しぶりに女子の団体がくめそうです。現在新役員に代がかわり、夏休みも熱心に練習を行っていました。今年度はあつち整備も行いあらたな気持ちで秋の大会に向け出発です。



吹奏楽部

顧問◎鈴木 陽子
吉川 久雄
佐治 雄介

今年三月に前顧問であった片平喜美代教諭が退職され四月から後任として私が顧問を務めさせて頂いております。日頃から同窓会の皆様には、吹奏楽部への温かいご支援とご協力を頂きましてありがとうございます。

毎年夏に吹奏楽コンクールが行われていますが、50人程度の部員のいる他校を相手に30数名の我が部は奮闘してま

機械科研修部

顧問 栗田 克志
平山 賢実
高橋 浩二
湯田 恒弥
丹治 一記

機械科には機械研修部というサークルがあります。発端



鈴木 哲
佐野 正司
岩田 善一

去る八月十五日には定例のサッカー部OB会が開かれ、遠方から多数のOBの皆様がお集まりになりました。当日はあいにくの雨模様だったものの、恒例となった親善試合を行い、技術指導はもとより

疾風 総合優勝
F r e e E l e c t r o n
P H A N T O M
B E R O C H E

あり、今年の四月には四泊五日で千葉遠征合宿を行うことができました。テレビなどでよく耳するような高校と対戦するなど、関東地区のハイレベルな試合を経験でき、選手共々今後の糧にすることができました。その他にも、水戸・新潟・米沢の各地区へと足を

運び、サッカーの技術向上は言うまでもなく、精神面も鍛錬しながら、資質の向上に努めております。遠征を通じて何よりなことは、選手が一回り成長する姿を目の当たりにできることと、対戦相手の高

こういった地道な活動を積み重ねることが、同窓会の皆様方はじめ、地域のご期待に添うものと確信しております。

引き続き御指導・御鞭撻を賜りますようお願い致します。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝と益々の御発展を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

会報は母校の様子や同窓会の動き同窓生の活躍ぶりなどを同窓生の皆さんに伝える義務を負っている。そのため情報の収集には多くの方々のご協力を頂かなければならない。こうして会報二〇〇三も
 出来上がった。

源音鏡仁……	5A……	会津若松市
管家慶弘……	56A……	北会津村
左藤王道……	9C……	会津吉川町

[illegible]